

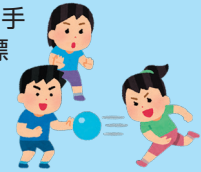


球技大会

種目：ドッジボール



いつもは仲良しな友達でも、対戦相手となれば本気で勝負!!優勝という目標に向かってクラス一丸となり取り組めた行事でした。



なにわ高等支援学校で出場した
サッカー大会で全国大会出場!!

1年3組 津田 悠希さんが第9回全国知的障がい特別支援学校高等部サッカー選手権 2023 に出場されました。



26期生卒業寄贈品 & PTAからの卒業記念品



在校生の皆さんへの寄贈品は、テーブルとイスのセットになりました。中庭やアプローチに設置します。友達との交流を深め、学校生活の中でほっとできる空間となればと思います。

進路状況

共通テストを112名の生徒が受験しました。多くの科目で文章量が増加した傾向にありました。



災害備品について

1/1 に起こった能登半島地震。災害は、いつ起きるかわかりません。家族と離ればなれになる事も...と思うと不安です。浪速区のハザードマップ上では今宮高校に津波は及ばないことになっており、災害避難所に指定され、備蓄品もあります。



台湾国立台東女子高級中学来校



17名の方が来校されました。この日は、2年生の球技大会があり、合同チームと一緒にプレーしました。言葉の壁はジェスチャーで乗り越え、楽しく過ごしました。今高生の人と関わる力の大きさを実感した一日でした。



芸術鑑賞会 ミュージック 北斎マンガ



葛飾北斎について詳しく知る事ができ家族の支えがあったから絵を描き続けられた北斎の人生に感動し、演者さんの表現力に圧倒されました。



編集後記

118号が完成し、今年度の「いまみや」の発行を無事終わりました。今年度はコロナの影響で制限された生活から解放され、少しずつではありますが、コロナ前の行事の取り組みもできるようになり、子ども達は学校生活をより楽しめた一年だったと思います。来年度も自主・自律を一人ひとりが心がけ、「磨け知性・輝け個性」のもと、子ども達の学校生活が輝くものとなりますよう応援しています。

軽やかに生きる

校長 中須賀 久尚



今宮高校は素晴らしい。第一に正面玄関の広々としたロビーがいい。「芸術の森」と名付けられたその場所は、いつも生徒の作品で溢れている。しかもそれらは次々と新たな作品に入れ変わるのだ。芸術は、民族や言葉の壁、あるいは、時代を越えて人の心を軽々と掴む凄いアイテムだ。次代をいきる生徒たちが創作した個性豊かな作品の数々に囲まれて、なんとも清々しくいい気分になる。

とりわけ気に入ったのが、11月に展示された「海のいきもの」シリーズの立体造形だ。中でもある3年生の作品。ハリセンボンがモデルと思われる真ん丸の体いっばいにトゲトゲがくっついた生きものの名前は「ハリナンボン」。「ずっと怒っているので早死にする」とまで注釈が付いていたが、この軽やかさがとてもいい。少々大仰かもしれないが、芭蕉の「梅が香にのっと日の出る山路かな」を思い出す。さすが芭蕉。「日の出る」を「のっと」と表現することなど私には到底思いつかない。晩年に開いた軽みの境地に至るまで芭蕉は何を見てきたのだろう。トゲトゲの体を作っては「ハリナンボン」と言っただけの彼女の境地も重なるところがあるのではと、ふと思った。そして、このような鋭く豊かな感性を持つ多くの今高生がともに学んでいる。1階ロビーの「芸術の森」はそれをはっきりと感じさせてくれるのだ。

総合学科26期生の皆さん、卒業おめでとうございます。コロナ禍の最中に始まった高校生活は制限ばかりで期待していたものとは随分と違っていたでしょう。しかし、皆さんは笑顔を見つめ、仲間とともに、できることを精一杯に生きてきたのではないですか。校歌にある「意気と熱 讀えよ ともに」、「競い起ち 磨けよ ともに」、「血潮わき 築けよ ともに」のとおり、自ずと仲間とともに、たくましく生きてきたのではないですか。そして、人とつながり、「ともに」を可能にするには、軽やかさが大切だと気づき始めているのではないのでしょうか。

皆さんは凄いな次代を生きる凄いな人になるのです。どんな困難に遭うことがあっても、最後の「希望燃え 究めよ ともに」の歌詞のとおり、自分のしたいことを究めて、未来の社会でたくさんの人とつながり、大いに活躍されることを楽しみにしています。保護者の皆様、本校教育に多大なご支援をいただき有難うございました。

卒業生の皆さんが、清清澆刺と我が人生を謳歌されることを、そして、輝きに満ちた心豊かな未来が訪れますことを心より願い、お祝いの言葉といたします。

ご挨拶

PTA会長 川口 純加



総合学科26期生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。保護者の皆様におかれましては、お子さまが遅く成長され、卒業の日を迎えられたこと心よりお祝い申し上げます。子どもたちに寄り添い過ごした3年間は、実り多い月日であったことと存じます。

また日々愛情を持って導いてくださった先生方、職員の皆様には保護者を代表し厚く御礼申し上げます。子どもたちはこれからも幾度となく先生方からの温かい言葉を思い返すことでしょう。

卒業生の皆さん、今皆さんの目の前には大きな未来が広がっています。総合学科という特色ある学び舎で、授業や学校行事、部活動から主体性を育んだ皆さんなら、4月からのそれぞれの新しい道に進んでも、力強く活躍できると確信しています。コロナ禍の中でスタートした高校生活は、皆さんが思い描いていたようなものではなかったかもしれませんが、しかし挫けることなく友達や先生方と出来るやり方を考え、力を合わせ授業や学校行事、部活動に取り組み、最善の形で実現させました。工夫して物事に取り組んだ経験とそこから得た知見は、「生きる力」と「心の糧」となり、これからの人生で大きな支えとなることでしょう。

社会は大きな変化を迎え、まっすぐな道ばかりではないかもしれませんが、しかしどんな逆風も障壁も「磨け知性、輝け個性」の精神で何事も懸命に取り組み進んでいけば、乗り越えていく力が皆さんにはあると信じています。自分自身を大切に、楽しみながら未来へ歩んでください。

最後になりますが、卒業生の皆さん一人ひとりの新たな旅立ちにエールを送り、健康と幸せを心からお祈りいたします。

「素敵なおじさん化計画」

1組 増井悠航



30歳を超えて急激に体が言うことを聞かなくなってきた。健康で正常な体を維持するために身体を動かすのは大事で、体育でめっちゃ良いんやなと思う。痛いとかしんどいことが嫌いで、避けまくった結果、こんな身体になったんやと思う。今の自分はこれまでの生き方の集大成みたいなもんなやなって、最近たまに思う。身体のことだけじゃなくて、考え方とか、人との関わり方とか。素敵なおじさんになっていきたいんやけど、そんなん教えてくれる人も居てへんし。困ったなあ。自分でなんとかせなあかんねん。

さっきまでめっちゃ曇ってたけど、作文してたら晴れてきた。

素敵なおじさん化計画として、まずは、できて当たり前とされていることを1つずつ、自然にできるようにしたい。ご近所さんとか、バスの運転手さんとかにもちゃんと挨拶する。身の回りをきれいにする。お酒にのまれない。丁寧な言葉遣いで、穏やかな会話を心がける。活字を読む。とりあえず思いつく限りの自分の課題を挙げてみたけど、恥ずかしい限りやわ。でも、ちゃんとしていきたい。身体は硬くなって、心は柔らかくしときたい。

だって、本当に大切なものは、だいたい目に見えへんから。なんか見えたらまた教えてな。



「26期の皆様へ」

2組 東真由美



26期皆様、ご卒業おめでとうございます。あつという間の3年間でしたか？つらく苦しい3年間でしたでしょうか？卒業式では、あんなことで盛り上がったな、こんなことで内藤先生に怒られたな、あんな失敗して友達に笑われたな・・・なんているんな思い出は浮かんできましたか？

私から皆さんにお話ししたいことは、すべて学年通信に書いてしまったので、正直何をお話したらよいか悩んでしまいました。でも、やっぱり最終的には学年通信の内容に行き着くなあ、ということ・・・(もう忘れてしまった人も、そもそも読んでない人もいますので)おさらいしておきます。

一つは、後悔のないように。気になったことは挑戦してみよう。失敗してもいいよ。あとでやらなかったことを後悔するよりずっとマシだよ。

もう一つは、長い人生のたった三年間しかない貴重な高校生活、ぜひ楽しんでください。

一つ目は、私が言動に悩んだときに背中を押してくれる考え方です。二つ目については、高校生活はもうすぐ終了してしまいますね。さあ、楽しめましたか？私は高校を卒業してもう二十年以上たちますが、高校の友達に会うと、久しぶりに高校生に戻ります。あの頃の懐かしい話がたくさん出てきます。友達や先生のこと、教室のことや学校行事、部活のこと、学食のプリンのこと、謎の校則・・・話は尽きません。そんなにキラキラした学生生活は送ってなかったはずなのですが、なぜか、つらかったこともくるしかったことも楽しかったことも懐かしくキラキラして思い出されます。

十年後、教師と生徒で立場は違いますが、「あの時は〜」の話がしたいですね！！

「初心のうた」

3組 金尾壮徳



初心忘るべからず 世阿弥の「はじめの志を忘れるな」ってコトバ 室町時代から語り継がれてるってことは生きる上できっと大切な教訓なんだろう 僕たちはそうやって歩いてこれたかなあ

人はよく初心を忘れるらしい それはもっと大事なモノをみつけた証なのかもしれない でもたいていは怠惰や慢心という妖としてあらわれる そいつらに負けっぱなしってのもカッコ悪いなあ

これから僕たちはそれぞれの新たなステージで歩きはじめる「なんかだるいなあ」って日もある「やる気出ないなあ」って時もある そんな時は初心にふりかえって 初心こそ迷ったときに立ち返る場所 ジブンの原点なんだ 思い出したら大丈夫！ また前向いて歩き出そう！

今日は旅立ち まゆを破ってほはたく日 平らな道ではないし もう歩けないとつぶやいても その疲れさききって進んできた証 たまにはゆっくり休むもよし！ ただしい道はわからない さきが見えない壮大な旅だけど 初心のうた口ずさんで さあゆこう

26期のみなさん、卒業おめでとう。三年間みんなとここまで歩いてこれたことは心からの誇りです。最高の思い出です。本当にありがとう。「よく遊び、よく学べ」これが金尾の教育におけるモットーであり、立ち返るべき原点です。これからもいろんな経験をして、豊かな人間になってください。



第26期生卒業おめでとう!!

「卒業していくみなさんへ」

第3学年主任 内藤嘉信



あつという間の3年間でした。前任校で最後の担任を持ってから生徒指導部長3年、学年主任3年、そして今宮に転勤しての2年目。8年ぶりに担任が持てるワクワクしていたのに26期の学年主任を任命されました。前々校長に頼りましたが叶いませんでした。26期生全員の担任と思ってやるしかないという割り切ったスタートしたのがつい昨日のようでした。

ただ、この文章を書くにあたって振り返ってみると、いろいろな思い出が浮かびました。校外学習、球技大会、体育祭、文化祭、修学旅行、産社・探究活動など。個人的には修学旅行の全体レクと夜後祭でダンスを踊ったことは思い出深いです。今までの勤務校では絶対に頼まれなかった(怖すぎたから?)ので。恥ずかしかったけど良い思い出です。たくさんのクラブの公式戦にも応援に行きました。がんばる姿が見られて良かったです。

この3年間、君たちの成長を願って授業や学年集会、学年通信などを通じて想いを訴えてきました。入学後すぐの学年集会では、「あいさつは『先手必笑』」「自分を客観視すること」「目くばり・気くばり・心くばり」「文武両道と文武不岐」などの話をしました。その後も、「先見の明を養う」「自発的に動く」「2・6・2の法則」など書ききれませんね。何か1つでも心に残ってくれていたらうれしいです。

もうそういう話はできないけど、これからたくさんの経験を通じて、自分に関わる人たちに感謝の気持ちを持って、義理人情を大切に魅力のある大人になっていってください。「無感激人生空虚也」これは私の座右の銘です。これからの人生、存分に謳歌してください。卒業おめでとう！

「正解」

4組 小堺吉禮



世は Artificial Intelligence 全盛の時代。僕は卒業メッセージの執筆を依頼された。

「ChatGPT、卒業のメッセージ書いて。」

「ChatGPT」この素晴らしい旅が終わる時がやって来ました。卒業おめでとう!...」信じられへん時代になったなあ。6年前、僕がアレクサに執筆を依頼した時は「スママセン、ヨクワカリマセン」やったのに。AIは世界に顕現したほぼ全ての事象に答えを出し、蓄積された統計も然り。現代では統計が瞬時に処理されて、否応なく傾向を示す。将棋の世界では局面がAIによって解析されて、次に指すべき最善手が提示される。野球の世界でも、統計学的見地から戦術が提示されるセイバーメトリクスが取り入れられて久しい。

あなたがこれから生きる世界はある側面から見れば、こんな世界。調べれば答えが得られる世界。でもこれは世界のほんの一面に過ぎひん。

あなたが生きる人生に答えはない。それはあなたに「心」があって、あなたと関わる人にも「心」があるから。人と人との関わりが、本当に楽しくて、本当に辛くて、味わい深いのは「心」が介在するからやと思う。高校生活もそうやったんちゃう?これからもきつとそう。

"人という漢字は人と人が支え合って..." 某ドラマの有名なセリフ。ほんまは違うみたいやけど、この世界を生きたら、あながち間違っていないあつて思う。

先生として3年間、26期生のあなたと過ごしたけど、先生が教わることばかりやった。「先生何で半そでなん?」ってよく言われたけど、人生に答えはないからな。「先生何目指してるん?」ってよく言われたけど、答えのない人生の自分なりの答え探してんねん。「先生何でそんな楽しそうなん?」ってよく言われたけど、ありがとう、全部あなたのおかげやで。

答えに満ち溢れたこの世界やけど、答えのない人生を、味わい深い人生を、大切な人と支え合って生きていってな。卒業おめでとう。

「きらきらの26期へ」

5組 河野沙紀



あなたたちの担任になって思ったことは、26期のみなさんはきらきらのびかに輝いているなあということ。内側から発光しているのかってくらいべかっています。自覚はないでしょうが、私はいつもあなたたちのことをまぶしいなと思っていました。頑張っている姿だけがまぶしいわけではありません。授業中眠気に負けて伏せている姿、休み時間に友達とおしゃべりしている姿、絶対に何も考えてないやろうなって顔でぼけっとなっている姿。ぜんぶひっくり返して、ああまぶしいなと思っていました。窓から差し込む光の柔らかさに、自分が高校生だったころを重ねたことがあります。特別なにかあったわけでもない、地味な高校生活ではありましたが、あの時の私はきつとびかびかに輝いていたやろうなあつて思うことができました。君たちがきらきらの3年間を過ごしてくれたおかげです。

これからも輝き続けてねって言いたいけれど、未来がおしなべて希望に満ちて輝いているわけではありません。時には暗くて、みじめで、どうしたって頭を上げられない日があります。人にやさしくできなくて、自分を守ることっていっぱいいっぱいになるでしょう。そんなときはずっと落ち込んで結構。ごはんを食べて睡眠をとって風呂に入って(これだけは絶対にしてください)ともかくにも生きてください。そして、余裕があれば頭の片隅から取り出してください。あなたたちは全員が全員、きらきらのびかびかに輝いていたことを。だから、たまにくすんでも大丈夫。この3年間の輝きがあなたたちの糧になることを確信しています。

さいごに!卒業おめでとう。

「いろいろやってみ!」

6組 佐伯淳



26期生のみなさん、縁あって担任を持つことになった私を、温かく受け入れて頂いただきありがとうございました。始業式で紹介される時、とても不安でした。式後、教室で配布物を渡すと、普通に「ありがとう」の言葉を聞き、とてもホッとしました。普通にお話ができる皆さんのおかげで、何とかやってこれたと思います。とりわけ6組の皆さん本当に感謝しています。ありがとうございました。

26期生の皆さん卒業おめでとうございます。マスクありで始まった高校生活が、ようやくNO-マスクになり、目線で誰か判断していたのが、NO-マスクに変わっていく日々はとても新鮮です。授業時の印象が、行事、部活時にどんどん変化していくのは、皆さん自身の成長のせいかもしれません。

新たな場所へと進む皆さん。今まで、距離を置く習慣をつけ、慎重に行動を、と求められることが多かったと思います。新たな場所では、少し前に出て、いろんなことに挑戦してみてください。大きさに考えず、「やってみたら」と言われたこと「やってみる」で。ケガするのは困りますが、うまくいかないことがあるのはよくあることです。

人に迷惑をかけてしまったら、思いっきり謝る! 皆さんには、たくさんの時間と、体力があります。目の前の失敗を恐れなくてください。失敗も必ず未来への財産となります。うまくできたかどうか考えるのはまだまだ先!。目先の利益にとらわれないでください。多彩な卒業生となった皆さんに再会できる日を心待ちにしています。